
ひぐらしのなく頃に 続

望 暎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ひぐらしのなく頃に 続

【Nコード】

N 6 4 2 3 M

【作者名】

望 矖

【あらすじ】

運命に立ち向かい、平穏な生活を手に入れた梨花のその後の心境は…

梨花編？

夢をみた。とてつもなく長く、灰色で、赤黒い夢を。私は裸で醜態を晒し、鮮血を撒き散らしている。そして死臭を嗅ぎ付けてやってきた黒い鳥が私をついばみ、喰らっていく。運命とはなんて無情なものなの…。やはり逆らえない。抗うことなどできない。私はもう疲れた。やっと昭和58年の6月から抜け出せると思ったのに。やっと運命を変える奇跡の光を掴めると思ったのに。

惨劇はまた、繰り返される…。

『…梨花あゝ羽生うゝ！早く起きて、お布団を片付けてくださいましゝー！！朝ご飯が食べられませんかよゝー！！』

はっ、として目が醒める。咄嗟に隣で寝ていた羽生を叩き起こし、声を荒げて問いただす。

『羽生ッ！今は昭和何年の何月ッ！？』

寝起きで何が何だかわからない羽生は、目をぐるぐるに回しながら答える。

『あ、あうあうゝ。り、梨花ゝ、落ち着いてくださいですゝ！あうゝ。』

いきなり怒鳴ったせいで、沙都子はびっくりした様子でこちらを見ている。柱に掛けてある日めくりカレンダーを確認すると、私はようやく我に還ることができた。そうだ。全て終わったんだ。昭和5

8年7月1日、私たちは運命に立ち向かい、自分達の力で奇跡を掴み取り、勝利したのだ。

『り、梨花あ…くるちいのですう…手を、手をはなじでぐださいなのですう…。あう…』

私に首を締められた羽生は悶絶して今にも失神しかけていた。

『ご、ごめんなさいなのです！怖い怖い夢を見てしまったのですよ、にば〜』

羽生はフラフラになりながら沙都子に水をくれるように頼んだ。爽やかな朝の風が8畳の狭い部屋に流れ込む午前7時。私は窓の外、森や遠くの山々を見つめると、自然と涙が溢れてくるのを抑えきれなかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6423m/>

ひぐらしのなく頃に 続

2010年10月10日17時40分発行